

令和7年1月31日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 三宅 和広
記録員 古澤 義弘
班 員 水戸 保
班 員 駒延 法子

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和 7 年 1 月 1 9 日 (日) 午前10時～	
2 会 場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ	地域の活性化について	
4 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等)	参加者の意見等	取扱
	・子育て施設、教育機関、福祉機関、相談機関、医療機関、行政などが繋がり合って、どの世代にも切れ目なく支援していくシステムの構築が必要である。例えば、幼稚園や保育園と小学校が連携する「架け橋プログラム」を活用したい。	①
	・伝統行事を守り、かつ新しいものを見出すことが活力につながる。そのためにはハブになる人や場所が必要であり、そうすることにより人の声が寄せられ、実現し、役立ち感が得られ、またやろうというPDCAサイクルが生まれるのではないかと。	①
	・子ども達にもっと活躍できる場を提供していくべきと考える。例えば、小学校の生活や総合の授業で地域の課題について学習してもらってはどうか。地域に関心を持ってもらう機会にもなると思う。企業とコラボして実施するなどということも考えられる。1人の子どもを多くの大人で育てるまちにしたい。	①
	・若者が定住できる街、県外に出た若者がUターンしてく	①

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
②執行部に伝えるもの
③執行部からの回答を要するもの

	<p>る街にするには、「小学生のうちから親の働く姿を見せる」、「親が地元の良さを教える」などが必要である。また、今ある地域の財（芸術、文化等）に光を当て自分の住む地域の良さを実感してもらうことも必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動手段の充実が必要。ドモスは登録が面倒である。もっと気軽に利用できるようにするべきである。 ① ・健康寿命を延ばすには、体を動かすこと、交流を増やすことが大切。特に男性が少ないように見える。イオンの中の居場所空間、パルテや公民館も活用できるのではないか。 ① ・地域食堂の活用。低料金で誰でも利用できるが、どこでやっているのか等の情報が伝わっていない。民生委員等から1人暮らしの高齢者の情報を聞いて声を掛けたり、「一緒にいがねが」などと声を掛けてくれる「地域を繋ぐ連結人材」の育成も必要ではないかと考える。 ① ・街の情報を共有できるデータベース（デジタルでも、アナログでも）が必要であり、また、情報を繋ぐコーディネーターも必要である。人、物、街の情報が1か所で得られるようにして、そこでみんなが集まって話し合いができる「縁側的な場所」が必要である。新図書館にはこの機能を持たせるようにしてほしい。 ② ・消防団は必要であるが、高齢化でなり手不足が目立ってきている。必要であることは理解できるが、なくすアクションを起こすことにより市に消防団の在り方を考えてもらうきっかけにしたいと考えている。 ① 	
--	--	--

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
 ②執行部に伝えるもの
 ③執行部からの回答を要するもの